- ※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
- ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真 1) (表 1) などと文中に記載し、右ページに(写真 1) (表 1) などと表記の上、貼り付けてください。
- ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
- ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。 NITS 大賞に応募する場合、ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

研修成果の活用レポート ※「NITS 大賞」にエントリーされる場合はくaward@ml.nits.go.jp>宛てメールにて、ご応募ください。

所属名・氏名・修了した研修名

大分市立東陽中学校 (大分東部学校支援センター) 木付扶美子 令和元年度第1回事務職員研修

応募部門名

校内研修プログラム開発・実践部門

活動名:

学校事務のアイデア・ラボ ~未来の事務職員に"経験"をつなごう!~

解決すべき課題:

学校教育法における事務職員の職務権限が「つかさどる」に改められたことによって、事務職員が行政職として校長の学校経営をサポートする役割を持つことが明確になった。これに伴い、正確・迅速に事務を処理する能力はもとより、課題を発見し解決に導く思考力・発想力といった高度な資質・能力が求められている。

これらの能力の土台となるのは知識や経験だが、ベテランと若年の二極化が進んだことにより、成功例や工夫といった"経験"を伝え合うことで互いの経験不足を補完するといった文化が維持できなくなってきた。

こうしたことから、未来を担う若手事務職員の育成と資質向上に寄与すべく、業務改善や学校運営への参画にコミットする思考や発想のヒントとなるような"経験"を蓄積する仕組みづくりを考えた。

目標·方針:

○実践例や業務改善の工夫をデータベース化し、「アイデア・ラボ」として公開する。

仮説 1 共有のデータベースから実践例"経験"を補完し、新たな発想に繋げる。【図 1】

仮説 2 成功例を分析する中で、他職種との協働がより大きな成果を生み出すことを確認する。

仮説3 学校現場の現状や課題を広く知ることで、若手事務職員の課題を発見する目が養える。

活動内容:

- 1本研修で学んだことをもとに、学校運営への参画のあり方と実践例のアーカイブ化について提案。(R1.7) ・若手を中心とする「学校運営への参画」研修グループが月1回の定例研修で活動を開始。
- 2 学校運営への参画や業務改善に関する実践例や工夫についてのアンケート実施と分析。(R1.8~9)
 - ・大分市内の事務職員(臨時・非常勤を含む)が対象。回答は自由記述。 【図 2】
 - ・集約したアンケート結果の分類と分析。
- 3 "経験"を共有するためにアンケート結果を公開。(R1.12~R2.1)
 - ・アンケート結果をまとめ、市の事務職員用ファイルサーバにアップロード。

活動の成果:

- 1 学校運営への参画や日常の課題について話し合う中で、若手事務職員が、課題の発見や解決に悩む現 状や中堅層となる未来に不安を抱いていることがわかった。活発に意見を出し合うことができた。【写真 1】
- 2 アンケートの結果、経営参画や業務改善について 69 件の事例が集まった。【写真 2/図 2】
- ・学校運営への参画に関する考え方によってアプローチに違いがあることがわかった。
- ・分類の過程で個業と協業の側面からも分析し、協働的な取組がより大きな成果を出せることがわかった。 ・業務改善に役立つ事例が散見され、若手メンバーが勤務校の実情に合わせた工夫を思考していた。
- 3 アンケート結果の共有は、閲覧者の目的に合わせて検索ができるよう工夫した。
 - ・"仕事術"や"トラブル解消法"としても参考にしたいとの積極的な意見が複数寄せられた。

アピールポイント(アイディアや工夫):

- ① 研修グループは若手を主軸とし、経験年数5年未満3名、30年以上2名の5名で構成。
- ② アンケートの実施にあたっては、些細なことでも気軽に回答できるようタイトルを「こんなことやってます!アンケート」とした。 質問項目も「学校全体・児童生徒・業務改善」の3つの視点で設定し、自由記述とした。
- ③ アンケートの集約結果はデータベース化し、困りや見たい実践例をキーワード検索で閲覧できるようにした。 【図 3】
- ④ 学校運営への参画に繋がるような事例は、公開できる範囲で課題解決のプロセスを提供してもらった。

※事務局記入欄

No. D-54

写真 1:「学校運営への参画」研修グループ

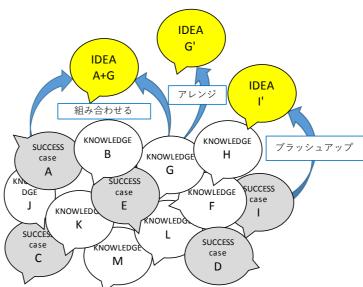


写真 2:アンケート集約と分析

図 1:発想が生まれるイメージ



写真 2':個業と協業に分類



図 2:アンケート用紙と回答例



図 3:アイデア・ラボ(試作)



[様式2]